

産業廃棄物処理計画書

令和5年 5月 22日

福島県知事 殿



提出者

住 所 福島県喜多方市字長内7824-2

氏 名 檜内建設工業株式会社

代表取締役 檜内秀司

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0241- 22- 1711

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	檜内建設工業株式会社
事業場の所在地	福島県喜多方市字長内7824-2
計画期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	中分類 総合工事業 小分類 一般土木建築工事業
②事業の規模	完成工事高 2,1550,00万円 (令和4年度実績)
③従業員数	50人 (令和4年3月末現在)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	建設現場 → がれき類 ⇒ 中間処理委託 (再生骨材) 木くず ⇒ 中間処理委託 (木質チップ等) 廃プラスチック類 ⇒ 中間・最終処理委託 (再利用等) 金属くず ⇒ 中間処理委託 (再利用・売却) 建設系混合 ⇒ 中間・最終処理委託 (再利用等) ガラスくず ⇒ 中間・最終処理委託 (再利用等) 廃石膏ボード ⇒ 中間・最終処理委託 (再利用等) 汚泥 ⇒ 中間・最終処理委託 (再利用等)



自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ —— 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	——	——
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—— t	—— t
	(これまでに実施した取組) 現状無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	——	——
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—— t	—— t
	(今後実施する予定の取組) 現状無し		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ —— 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	——	——
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—— t	—— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—— t	—— t
	(これまでに実施した取組) 現状無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	——	——
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—— t	—— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—— t	—— t
	(今後実施する予定の取組) 現状無し		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（―――年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	―――	―――
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	―― t	―― t
	(これまでに実施した取組) 現状無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	―――	―――
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	―― t	―― t
	(今後実施する予定の取組) 現状無し		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	・ ・ 別紙のとおり ・ ・		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
<u>・ ・ 別紙のとおり ・ ・</u>			
※事務処理欄			

産廃廃棄物の排出の抑制に関する事項		NO. 1	
① 現 状	(前年度(令和4年度)実績)		
	産業廃棄物の種類	( がれき類 「コンクリート」 )	( がれき類 「アスファルト」 )
	排 出 量	281.55 t	1283.78 t
	( これまでに実施した取組 ) ( がれき類「コンクリート」 ) 前年 905t 排出 年度毎の受注量は一定ではない。今年度は特別な解体が無かったため、 前年に比して、大幅な減だった。 ( がれき類「アスファルト」 ) 前年 908t 排出 年度毎の受注量は一定ではない。搬出処理先については、近距離の 処理施設搬入を常時取り組んでいる。前年に比して多かった。		
② 計 画	【 令和5年度 目 標 】		
	産業廃棄物の種類	( がれき類 「コンクリート」 )	( がれき類 「アスファルト」 )
	排 出 量	1,000.0 t	1000.0 t
	( 今後実施する予定の取組 ) ( がれき類「コンクリート」 ) 年度毎の受注量は一定ではない。年度は特別な解体の受注がなかったため、 大幅な減となったが、解体建物等の発生は1000t程度の発生として取り組む ( がれき類「アスファルト」 ) アスファルト廃材の発生は、公的な部分が多いので、道路の改善対策 での一工夫による抑制に取り組むよう、考慮する		
① 現 状	(前年度(令和4年度)実績)		
	産業廃棄物の種類	( 木くず )	( 建設系混合 廃棄物 )
	排 出 量	64.05 t	37.00 t
	( これまでに実施した取組 ) ( ( 木くず ) ) 前年 645t 排出 今年度の排出量は、前年に比して大幅排出であった。 発生は、今後も考慮される状況である ( 建設系混合廃棄物 ) 前年 0.00t 排出 不可分一体の廃棄分類の混合廃棄物として、処理委託してきたが、 管理型・安定型の処理に頼っていただけでの実態である		
② 計 画	【 令和5年度 目 標 】		
	産業廃棄物の種類	( 木くず )	( 建設系混合 廃棄物 )
	排 出 量	200.00 t	50.00 t
	( 今後実施する予定の取組 ) ( 木くず ) 今年度の排出量は、前年に比して大幅減となり、空き家対策の施行 によって、多くの解体物件の受注により、更なる排出増加が予想される ( 建設系混合廃棄物 ) 混合廃棄物として、処理委託するのではなく、新築・解体に捉われない 分別委託になれるよう廃材排出の抑制としていく		

産廃廃棄物の排出の抑制に関する事項		NO. 2	
① 現 状	(前年度(令和4年度)実績)		
	産業廃棄物の種類	( 廃石膏ボード )	( 可燃物 )
	排 出 量	0.00 t	2.26 t
	( これまでに実施した取組 ) ( 廃石膏 ) 前年4.7t 排出 混合廃棄物として、処理委託をしていたために、区分としての取り組みになっ ていなかったため、分別委託になれるよう廃材排出の抑制としていく ( 可燃物 ) 前年 0.0t 排出 再利用の可能性がある、現状廃棄物に対して、少なかった		
② 計 画	【 令和5年度 目 標 】		
	産業廃棄物の種類	( 廃石膏ボード )	( 可燃物 )
	排 出 量	50.00 t	2.00 t
	( 今後実施する予定の取組 ) ( 廃石膏 ) 次年度も、有効活用的に排出区分対応をしていく  ( 可燃物 ) 再利用の可能性があるが、現状廃棄物として対応をしていく		
① 現 状	(前年度(令和4年度)実績)		
	産業廃棄物の種類	( 金属くず )	( ガラスくず )
	排 出 量	0.84 t	0.00 t
	( これまでに実施した取組 ) ( 金属くず ) 前年 1.9t 排出 不可分一体の廃棄分類の混合廃棄物として、処理委託してきたが、 前年に比して、建設副産物は、発生しなかった ( ガラスくず ) 前年0.4t 排出 再利用の可能性がある、現状廃棄物に対して、区分分けした対策をした		
② 計 画	【 令和5年度 目 標 】		
	産業廃棄物の種類	( 金属くず )	( ガラスくず )
	排 出 量	3.00 t	1.00 t
	( 今後実施する予定の取組 ) ( 金属くず ) 今年度の排出量は、新たな対策の施行によって、各種の解体物件の受注で、 排出増加が予想される ( ガラスくず ) 今年度の排出量は、新たな対策の施行によって、各種の解体物件の受注で、 排出増加が予想される		

産廃廃棄物の排出の抑制に関する事項		NO. 3	
① 現 状	(前年度(令和4年度)実績)		
	産業廃棄物の種類	( 廃石綿 )	( 廃プラ )
	排 出 量	0.60 t	35.60 t
	( これまでに実施した取組 ) ( 廃石綿 ) 前年0.0t 排出 全建設副産物として、発生が少なかった ( 廃プラスチック ) 前年32.5t 排出 再利用の可能性がある廃プラに対して、区分分けした対策をとってきた 前年比と同じだった。		
② 計 画	【 令和5年度 目 標 】		
	産業廃棄物の種類	( 廃石綿 )	( 廃プラ )
	排 出 量	0.50 t	20.00 t
	( 今後実施する予定の取組 ) ( 廃石綿 ) 建設副産物として、今期も発生する ( 廃プラスチック ) 再利用の可能性がある廃プラに対して、区分分けした対策を今後も取る		
① 現 状	(前年度(令和4年度)実績)		
	産業廃棄物の種類	( がれき類 )	( 汚 泥 )
	排 出 量	7.20 t	2.10 t
	( これまでに実施した取組 ) ( がれき類 ) 前年 0.0t 排出 今年度の排出量は、空き家対策の施行によって、多くの解体物件が予想されたが 排出はなかった ( 汚 泥 ) 前年0.0t 排出 建設汚泥は、発生予想による汚泥が懸念されたが発生はなかった		
② 計 画	【 令和5年度 目 標 】		
	産業廃棄物の種類	( がれき類 )	( 汚 泥 )
	排 出 量	10.00 t	5.00 t
	( 今後実施する予定の取組 ) ( がれき類 ) 今年度の排出量は、空き家対策の施行によって、多くの解体物件の受注で、 排出増加が予想される ( 汚 泥 ) 建設副産物として、今後も発生すると思われる		



産廃廃棄物の排出の抑制に関する事項		NO. 4	
① 現 状	(前年度(令和4年度)実績)		
	産業廃棄物の種類	( 廃油 )	( 燃え殻 )
	排 出 量	0.00 t	0.00 t
	( これまでに実施した取組 ) ( 廃油 ) 前年 0.0t 排出 今期は、発生がなかった		
	燃え殻 ) 前年 0.2t 排出 今期は、発生がなかった		
② 計 画	【 令和5年度 目 標 】		
	産業廃棄物の種類	( 廃油 )	( その他 )
	排 出 量	0.50 t	0.50 t
	( 今後実施する予定の取組 ) ( 廃油 ) 今年度の排出量は、対策の施行によって、解体物件の受注で、 排出増加が予想される		
	( その他 ) 建設副産物として、今後も発生すると思われる		
① 現 状	(前年度(令和4年度)実績)		
	産業廃棄物の種類	( )	( )
	排 出 量	t	t
	( これまでに実施した取組 ) <hr style="border: 0.5px solid black;"/> <hr style="border: 0.5px solid black;"/> <hr style="border: 0.5px solid black;"/>		
	( 今後実施する予定の取組 ) <hr style="border: 0.5px solid black;"/> <hr style="border: 0.5px solid black;"/> <hr style="border: 0.5px solid black;"/>		
② 計 画	【 令和5年度 目 標 】		
	産業廃棄物の種類	( )	( )
	排 出 量	t	t
	( 今後実施する予定の取組 ) <hr style="border: 0.5px solid black;"/> <hr style="border: 0.5px solid black;"/> <hr style="border: 0.5px solid black;"/>		
	( 今後実施する予定の取組 ) <hr style="border: 0.5px solid black;"/> <hr style="border: 0.5px solid black;"/> <hr style="border: 0.5px solid black;"/>		

① 現 状		【前年度(令和4年度)実績】		
		産業廃棄物の種類	( がれき類 「コンクリート」 )	( がれき類 「アスファルト」 )
がれき類		全処理委託量	281.55 t	1283.78 t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.00 t	0.00 t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	281.55 t	1283.78 t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.00 t	0.00 t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0.00 t	0.00 t
		(これまで実施した取組) ( がれき類「コンクリート」 ) 年度毎の受注量は一定ではない。搬出処理先については、近距離の 処理施設搬入を常時取り組んでいる。前年に比して、大幅減となった。 今年度は道路工事改善の解体による ( がれき類「アスファルト」 ) 年度毎の受注量は一定ではない。搬出処理先については、近距離の 処理施設搬入を常時取り組んでいる。前年に比して、380t減となった。 今年度は道路工事改善の解体による		
② 計 画		【 令和5年度 目 標 】		
		産業廃棄物の種類	( がれき類 「コンクリート」 )	( がれき類 「アスファルト」 )
がれき類		全処理委託量	1,000.00 t	1000.00 t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.00 t	0.00 t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,000.00 t	1000.00 t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.00 t	0.00 t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0.00 t	0.00 t
		(今後実施する予定の取組) ( がれき類「コンクリート」 ) 現状の委託先処理で、再生材の活用としてリターンできるように 取組みを続けていく。今期は搬出量が多くなるので、事業所の分別を図る ( がれき類「アスファルト」 ) 現状の委託先処理で、再生材の活用としてリターンできるように 取組みを続けていく。		

① 現 状

木くず
建設系混合 廃棄物

【前年度(令和4年度)実績】

産業廃棄物の種類	( 木くず )	( 建設系混合 廃棄物 )
全処理委託量	64.05 t	37.00 t
優良認定処理業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t
再生利用業者への 処理委託量	64.05 t	37.00 t
認定熱回収業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t

(これまで実施した取組)

( 木くず )

搬出処理先について、リサイクルに積極的に取り組んでいる処理施設に委託し、協調を進めている

( 建設系混合廃棄物 )

不可分一体の廃棄分類の混合廃棄物として、処理委託してきたが、管理型・安定型の処理に頼っていただけでの実態である  
今年度は特別な解体はなかった

② 計 画

木くず
建設系混合 廃棄物

【 令和5年度 目 標 】

産業廃棄物の種類	( 木くず )	( 建設系混合 廃棄物 )
全処理委託量	200.00 t	50.00 t
優良認定処理業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t
再生利用業者への 処理委託量	200.00 t	50.00 t
認定熱回収業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t

(今後実施する予定の取組)

( 木くず )

今年度の排出量は、前年に比して少なかったが、対策の施行によって、少なからず、解体物件の受注により、排出増加が予想される

( 建設系混合廃棄物 )

現状の委託処理先を基本とし、認定処理業者の発掘により委託を検討し建設廃棄物の有効的な委託処理につなげていく。

		【前年度(令和4年度)実績】		
		産業廃棄物の種類	( 廃石膏ボード )	( 可燃物 )
① 現 状	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">                     廃石膏ボード                      可燃物                 </div>	全処理委託量	0.00 t	2.26 t
		優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
		再生利用業者への処理委託量	0.00 t	2.26 t
		認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
		(これまで実施した取組) ( 廃石膏ボード ) 搬出処理先について、リサイクルに積極的に取り組んでいる処理施設に委託し、協調を進めている 今年度は解体物件がなかった。 <hr/> ( 可燃物 ) 再利用の可能性がある、現状廃棄物に対して、区分分けした 今年度は物件がなかった。		
		【 令和5年度 目標 】		
		産業廃棄物の種類	( 廃石膏ボード )	( 可燃物 )
② 計 画	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">                     廃石膏ボード                      可燃物                 </div>	全処理委託量	5.00 t	2.00 t
		優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
		再生利用業者への処理委託量	5.00 t	2.00 t
		認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
		(今後実施する予定の取組) ( 廃石膏ボード ) 再利用の可能性がある廃材に対して、区分分けした対策を今後も取っていく <hr/> ( 可燃物 ) 再利用の可能性があるが、現状廃棄物として対応をしていく		

① 現 状

金属くず
ガラスくず

【前年度(令和4年度)実績】

産業廃棄物の種類	( 金属くず )	( ガラスくず )
全処理委託量	0.84 t	0.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
再生利用業者への処理委託量	0.84 t	0.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t

(これまで実施した取組)  
 ( 金属くず )  
 不可分一体の廃棄分類の混合廃棄物として、処理委託してきたが、今年度は物件がなかった。

( ガラスくず )  
 搬出処理先について、リサイクルに積極的に取り組んでいる処理施設に委託し、協調を進めている

② 計 画

金属くず
ガラスくず

【 令和5年度 目 標 】

産業廃棄物の種類	( 金属くず )	( ガラスくず )
全処理委託量	3.00 t	1.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
再生利用業者への処理委託量	3.00 t	1.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t

(今後実施する予定の取組)  
 ( 金属くず )  
 今年度の排出量は、対策の施行によって、多くの解体物件の受注で、排出増加が予想される

( ガラスくず )  
 再利用の可能性がある廃プラに対して、区分分けした対策を今後も取っていく

		【前年度(令和4年度)実績】			
		産業廃棄物の種類	( 廃石綿 )	( 廃プラ )	
① 現 状  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                         廃石綿  <hr/>                         廃プラ                     </div>	全処理委託量		0.60 t	35.60 t	
	優良認定処理業者への処理委託量		0.00 t	0.00 t	
	再生利用業者への処理委託量		0.60 t	35.60 t	
	認定熱回収業者への処理委託量		0.00 t	0.00 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0.00 t	0.00 t	
	(これまで実施した取組) ( 廃石綿 ) 前年0.0t 排出 高等学校の全建設副産物として、少量発生した ( 廃プラスチック ) 前年 32.5t 排出 再利用の可能性がある廃プラに対して、区分分けした対策をとってきた 前年比としては大きく少なかった。				
② 計 画  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                         廃石綿  <hr/>                         廃プラ                     </div>		【 令和5年度 目 標 】			
		産業廃棄物の種類	( 廃石綿 )	( 廃プラ )	
		全処理委託量		0.50 t	20.00 t
		優良認定処理業者への処理委託量		0.00 t	0.00 t
		再生利用業者への処理委託量		0.50 t	20.00 t
		認定熱回収業者への処理委託量		0.00 t	0.00 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0.00 t	0.00 t
(今後実施する予定の取組) ( 廃石綿 ) 建設副産物として、今期も発生する  ( 廃プラスチック ) 再利用の可能性がある廃プラに対して、区分分けした対策を今後も取る					

		【前年度(令和4年度)実績】				
		産業廃棄物の種類	( がれき類 )	( 汚 泥 )		
① 現 状	<table border="1"> <tr><td>がれき類</td></tr> <tr><td>汚 泥</td></tr> </table>	がれき類	汚 泥	全処理委託量	7.20 t	2.10 t
		がれき類				
		汚 泥				
		優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t		
		再生利用業者への処理委託量	7.20 t	2.10 t		
		認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t		
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t				
		(これまで実施した取組) ( がれき類 ) 今年度の排出量は、排出減となった  ( 汚 泥 ) 目立った物件はなかった。				
		【 令和5年度 目 標 】				
		産業廃棄物の種類	( がれき類 )	( 汚 泥 )		
② 計 画	<table border="1"> <tr><td>がれき類</td></tr> <tr><td>汚 泥</td></tr> </table>	がれき類	汚 泥	全処理委託量	10.00 t	5.00 t
		がれき類				
		汚 泥				
		優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t		
		再生利用業者への処理委託量	10.00 t	5.00 t		
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t				
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t				
		(今後実施する予定の取組) ( がれき類 ) 今年度の排出量は、対策の施行によって、多くの解体物件の受注で、排出増加が予想される  ( 汚 泥 ) 現状の委託処理先を基本とし、有効的な委託処理を推進していく。				

産廃廃棄物の <u>処理の委託</u> に関する事項		NO. 7	
① 現 状  <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 60px; margin: 0 auto; display: flex; flex-direction: column; align-items: center; justify-content: center;"> <span style="margin-bottom: 5px;">廃油</span> <span>燃え殻</span> </div>	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	( 廃油 )	( 燃え殻 )
	全処理委託量	0.00 t	0.00 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0.00 t	0.00 t
(これまで実施した取組) ( 廃油 ) 今期は、発生がなかった <hr/> ( 燃え殻 ) <hr/> 特になし			
② 計 画  <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 60px; margin: 0 auto; display: flex; flex-direction: column; align-items: center; justify-content: center;"> <span style="margin-bottom: 5px;">廃油</span> <span>その他</span> </div>	【 令和5年度 目 標 】		※ 前年度の発生等については特別に計画はしない。事情に応じて、適切に対応する
	産業廃棄物の種類	( 廃油 )	
	全処理委託量	0.50 t	0.50 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.50 t	0.50 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0.00 t	0.00 t
(今後実施する予定の取組) ( 廃油 ) 現状の委託処理先を基本とし、有効的な委託処理を推進していく。 <hr/> 排出増加が予想される ( その他 ) 今年度の排出量は、対策の施行によって、解体物件の受注で、 排出増加が予想される			



